

6月のコラム ～ 地雷探知ネズミさんありがとう～

突然ですが、「地雷探知ネズミ」ってご存じでしたか？

カンボジアで地雷撤去に大活躍した地雷探知ネズミの「マガワ」が引退するというニュースを見ました。

地雷探知ネズミは、9か月のトレーニングで火薬の臭いを覚え、鋭い嗅覚を活かして地中の地雷などを発見できるようになります。人間が行えば探知に最大4か月かかる範囲もネズミなら30分で終わられるということです。マガワは5年間で、71個の地雷と38発の不発弾を発見し、東京ドームおよそ5個分の土地を人々が住める状態にしてきたとのこと。

アフリカオニネズミという種類で、体調25～45cmということですから、ネコくらいの大きさでしょうか。こういう作業では、動物の命が危険にさらされることが気になるのですが、このネズミの重さだと地雷を爆発させずに探知することができるのだそうです。それでも危険が伴う作業に変わりありません。愚かな人間の後始末を、命がけて何年もしてくれているネズミ達がいるなんて・・・。

遠い国の出来事のようにですが、世界中で起こっている内戦や戦争は決して私たちと無関係ではありません。世界中の政治・経済は、繋がっているのですから。

この「マガワ」は、多くの人の命を救ったとして去年イギリスの団体に表彰もされたそうですが、今年8歳を迎えて動きが鈍くなってきたため、今月いっぱい引退。育てられたアフリカの団体「APOPO」で、のんびり過ごすことになったということです。好きなバナナやピーナッツを食べる時間が増えるのだとか。仕事ができなくなっても大切にされるということがとても印象に残った話題でした。

それにしても、ネズミって知能が高かったのですね。（子どもの頃好きだった漫画のトムとジェリー。確かにジェリーは賢かった！）

犬に新型コロナウイルス感染を検知させる研究も進んでおり、発見できる確率が非常に高いという結果も各国で出ているようです。動物が持つ能力は、計り知れないですね。

人間が地球を支配しているかのように思ってしまうのですが、動物の嗅覚然り、植物の光合成、海の浄化作用・・・自然や様々な生き物に支えられて人は生きています。突然SDGs?みたいな展開になりましたが、コロナで活動範囲が狭くなった分、身の回りに触れるもの・・・食卓に並ぶ食べ物や季節の変化に対応した衣服の素材、窓から入ってくる光や風、色々な物に命を感じる事が多くなった気がします。生きとし生けるもの全てを大切にしたい。

「人は生かされている」とよく言われますが、まさにそう感じます。

2021年6月 水田かほる